

# サラリーマンへ「自分を追い詰めないで」

# 体験つづつた 読む栄養剤

元そごう神戸店長で現在は人材育成コンサルタントとして活躍する高橋貞夫さん(左)が「声塵市」が、サラリーマンを応援するコラム集「ビジネスの階段を登る人、下る人」を出した。経営破たん、債権者へのおわび、従業員のリストラ、転職と自らの経験を基に「時間はかかっても、きつと出口」はある。苦しくてもおおきくめないで」と呼びかけている。

(小林由佳)



高橋貞夫さん

高橋さんは二〇〇〇年にそごうが民事再生法の適用を申請したときの神戸店長。〇一年に退職し、今は神戸市内の経営コンサルティング会社に勤務する。

「自分の失敗が悩むサラリーマンのヒントになれば」と昨春秋からインターネット上にコラムを掲載。「ビジネス・サプリメント」と題し、ほぼ週一回のペースで、店長時代のエピソードやコンサルタント業務で感じたことなどをつづつていく。このほど連載百回を超えたのを機に冊子にまとめた。

「職場で「上が言うから」という言葉が出たら危険信号」

「デジタルの知識も必要だが、まずはアナログ的思考が大切。おじさんサラリーマンの強みはここ」

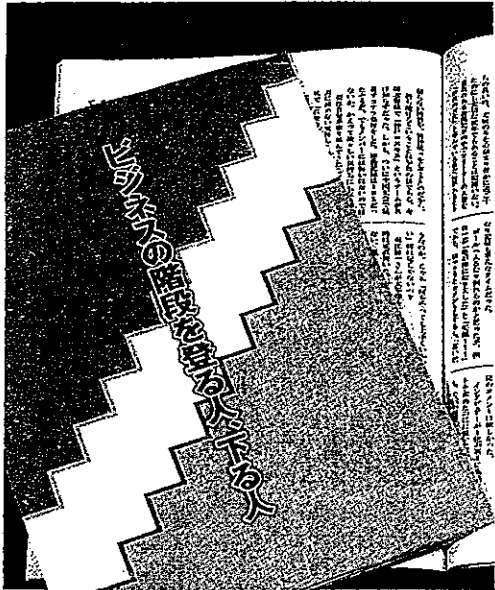
「自分自身を追い詰めないことが次へのバネになる」

## 元そごう神戸店長がコラム集

「小さく嫌われて大きく好かれるリーダー」が組織には必要」

「元気になった」など、コラムには幅広い年齢層から反応があるという。高橋さんは「変わるつと努力する人は褒められる」と実感している。厳しい時代だが、過去の成功体験にとらわれず、否定的にもならず、行動に移してみませんか」と話している。

冊子は非売品だが、希望者に二百部限定で配布する。郵送は不可。問い合わせはブレインワークス ☎078・325・3303。コラム掲載のアドレスは <http://www.w.cresis.co.jp/sjn/>



エールが詰まったコラム集